

兵解協だより

兵庫県解体工事業協会

(公)全国解体工事業団体連合会会員

事務局 神戸市兵庫区北逆瀬川町3-11 3F

TEL078-681-7710 FAX 078-599-8874

E-メールアドレス n-kaitai@hb.tp1.jp

姫路市長と「災害時における緊急時及び被災建築物の解体撤去の協力等に関する協定」を締結いたしました。

このたび、兵庫県解体工事業協会と姫路市長は「災害時における緊急時及び被災建築物の解体撤去の協力等に関する協定」を締結いたしました。これは、姫路市域で地震等の災害が発生した場合、被災した建築物等の解体撤去のために必要な人員、車両及び資機材等の調達を緊急かつ円滑に行うため姫路市への優先的な支援の協力をしようとするものでございます。

平成30年1月17日（水）AM10:00から姫路市役所秘書課特別会議室で協定の調印式が開催されました。兵庫県解体工事業協会からは、上原会長、金顧問、松川副会長他4名が出席いたしました。姫路市からは、石見姫路市長を始め、松本危機管理室長他2名が出席いたしました。調印式は、まず、石見姫路市長の挨拶から始められ、市長は、「23年前の阪神淡路大震災が発生したときは、重機がないため、救出は手作業で行われ、重機があればもっと多くの人命を救助できたと聞いております。このため姫路市では、災害に備え、姫路市と関連のある工事業者等に機会があるごとに、重機等の保有の有無を聴取し、保有重機の登録をお願いし災害時に協力を頂くよう努めてまいりました。このような中、本日、兵庫県解体工事業協会と「防災協定」を締結することができ心から感謝いたします。これにより姫路市にとりまして、専門家による重機、人員の支援を受けることができ、これ以上心強いことはありません。改めて心より感謝申し上げます。」と述べられ、「兵解協」に大きな期待を寄せられておりました。

次に上原会長が挨拶にたち、会長は、「本日は23年前にあの「阪神・淡路大震災」が発生した1月17日で私も神戸で被災を経験した忘れ得ぬ日でございます。このような日に「防災協定」が無事締結できますことは、この上ない喜びであり、感慨深いものがあります。これは危機管理室を始め姫路市当局のご配慮とご尽力の賜物であり心から感謝を申し上げます。おかげさまで、兵庫県解体工事業協会の社会的信用度・知名度などが向上するなど、当協会にとりましても、今後の協会発展に大きく寄与される事になると確信いたしました。

日本列島では様々な災害が頻繁に発生いたしておりますが、近畿圏では、「南海トラフ巨大地震」の発生が懸念されており、さらに姫路市周辺では「山崎断層」の活動等も懸念されております。当協会といたしましても組織を挙げてスキルアップを強化し、これらの災害発生時に迅速に、積極的に社会貢献に努めてまいります。本日「防災協定」が無事に締結されましたことに対しまして心から感謝申し上げます。」と述べられました。

この後、危機管理室から「協定」の概要説明があり、石見市長と上原会長が協定書2通にそれぞれ署名をし、記念写真を撮影、名刺交換などを行い「調印式」は無事終了いたしました。

兵庫県解体工事業協会では、平成27年9月に「兵庫県知事」と「防災協定」を締結。平成29年11月兵庫県警察本部長と「災害時支援協定」を締結。そして今回の姫路市長との「防災協定」を締結するなど、今後とも災害発生時に迅速に積極的に協力し、社会貢献に努めてまいりたいと考えております。

会員の皆様方も、防災訓練や災害発生時には積極的にご参加、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

兵解協だより



挨拶をする石見姫路市長



挨拶をする上原会長



調印後姫路市長と記念写真



調印後姫路市長と握手をする上原会長

総会の開催時期の変更のお知らせ

これまで、「総会」は4月に開催してまいりましたが、新春懇親会の開催との間隔が2ヶ月と短く、会員の皆様やご来賓の方々にご迷惑をかけてまいりました。このため、平成30年の「第17回総会」から開催時期を6月下旬頃に変更させて頂くことを検討いたしております。会員の皆様方のご理解を頂きますようお願い申し上げます。

開催日時、開催場所が具体的に決まりましたら、なるべく早い時期に「総会開催」のご案内状をご送付させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。